

第 88 回 ルネサンス③

1 北方ルネサンス

・イタリア戦争や商業革命などによってイタリア=ルネサンスが衰退すると、他のヨーロッパ諸国にもルネサンスの運動が広がっていった。

<イギリス>

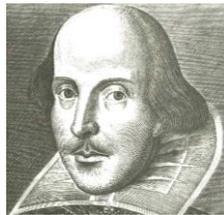
- () …14 世紀、ダンテの『神曲』やボッカチオの『デカメロン』の影響を受けて、『] を書いた。
- () …16 世紀初め、『] によって、当時のイギリス社会を痛烈に批判した。
イギリス王ヘンリ 8 世の離婚に反対したため、処刑された。
- () …16 世紀末から 17 世紀初頭の劇作家で、『]、
『オセロー』、『マクベス』、『リア王』の四大悲劇が代表作。
他に『ロミオとジュリエット』、『]、
『ジュリアス=シーザー』など多数。



チョーサー
本職は外交官で、イタリアに使節として行ったとき、『デカメロン』を読んだらしい。



トマス=モア
親友のエラスムスとは、特別に深い関係だったとされる。



シェークスピア
映画化されたシェークスピア作品
シェークスピア作品は、何度も映画化され、現在でも非常に人気がある。これは有名な話だが、黒澤明の「蜘蛛巣城」は『マクベス』を、「乱」は『リア王』を日本に置き換えた作品である。大学生になったら観ましょう。



- < >
- () …16 世紀初め、『新約聖書』の研究を行い、最大のヒューマニストと言われた。教会の腐敗を批判した『] は大ベストセラーとなり、宗教改革にも影響を与えた。
- () … () の画法の完成者。フランドル派の創始者。
- () …農民の暮らしを題材に描いたので、農民画家と言われる。
代表作は「]」、「バベルの塔」など。



エラスムス
ホルバインによる肖像画。
『愚神礼賛』は、トマス=モアの家で書いたらしい。



ヤン=ファン=アイク作
「アルノルフィーニ夫妻の肖像」。ヤンは兄弟の弟の方である。



ブリューゲル作「バベルの塔」
メソポタミア文明のジグuratが、バベルの塔のモデルとされていることを覚えてこ。



ブリューゲル作「農民の踊り」
ブリューゲル晩年の作品である。農民の生活を生き生きと描いた。妙に印象に残る絵である。

<フランス>

- () …代表作は『』。
() …代表作は『』。ユグノー戦争中は、
ボルドーの市長として両派の和解に努めた。

<スペイン>

- () …『』で、当時のスペイン社会を風刺した。



ラブレール

本業は医者と修士であるが、生涯には不明な点も多い。中世では忌避されてきた「笑い」を復権させようとした。教会を風刺したため発禁。



モンテーニュ

フランスを代表する哲学者で人文学者。『エッセー』に見られるすどく近代的な視点には、読むたびに驚かされる。



セルバンテス



ドン=キホーテ像

セルバンテスは、1571年のレパントの海戦に参加し、左腕の自由を失った。しかし残った右手で不朽の名作を書いた。文学史上の最高傑作という人も多い。

<ドイツ>

- ロイヒリン …ヘブライ語による『旧約聖書』の原典研究を行った。
クラナハ …画家。ルターと親しく、宗教改革者の肖像画などを描いた。
() …数多くの肖像画を描いたことで知られる。
代表作は「ヘンリ8世像」、「エラスムス像」など。
() …画家・版画家。代表作は「四人の使徒（四使徒）」。



ロイヒリン

ヘブライ語学者であり、『旧約聖書』研究の第一人者。宗教改革にも多大な影響を与えた。



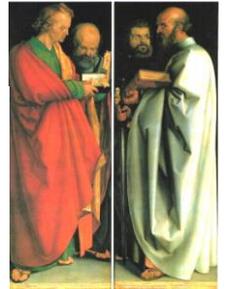
ホルバイン

父と兄も有名な画家だが、一番のビッグネームはこの人だろう。人物の性格が伝わってくるような肖像画を描いた。



デューラー

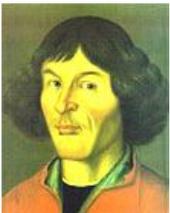
ドイツのニュルンベルクで生まれた。数学者でもある。代表作の「四人の使徒」は、初期キリスト教の重要人物を描いた作品。左から、ヨハネ、ペテロ、マルコ、パウロ。



「四人の使徒」

2 ルネサンス期の科学

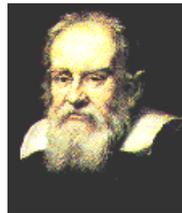
- () …15世紀、フィレンツェの学者で「地球球体説」を唱えた。
() …16世紀、ポーランドの天文学者。『天球回転論』の中で天動説を否定して()を主張した。
ジョルダノー=ブルーノ…イタリアの学者。コペルニクスの地動説を支持し「宇宙は無
限だ！」と主張したため、裁判で火あぶりとなった。
() …イタリアの科学者。初めて望遠鏡を使って天体観測を行い、
地動説を証明したが、裁判で撤回させられた。
() …17世紀、ドイツの天文学者。惑星運行の法則を発見した。



コペルニクス
その著書『天球回
転論』を発表した
のは、死の直前で
あった。



ジョルダノー=ブルーノ
彼自身は天文学者で
はないが、宇宙論で
すぐれた業績を残した。



ガリレオ=ガリレイ
ガリレオといえば、ピサの斜塔から大小2つ
の玉を同時に落とす実験で知られるが、こ
れは創作である。地動説は裁判で撤回させ
られたが、1992年に名誉回復された。



ケプラー
惑星の運行は、完
全な円ではなく、楕
円であることを主張
した。